

第 1 問 答案用紙< 1 > (経 営 学)

問題 1

問 1

品質を標準化するために設定された課業を実施するための賃金制度で、課業に達しない場合は低率、課業を超えた場合は高率というように賃率を変えて労働意欲を刺激した差別(差率)出来高賃金制度である。

問 2

組織メンバーは、個人の特性に関係なく、規則によって規定された職務を遂行するという、人間関係が希薄化されている状態を示している。

問 3

伝統的

支配

カリスマ的

支配

問 4

公式組織において命令の伝達は権威によって行われる、すなわち、命令が受容されれば命令者の権威が確認されるという権限受容説である。

問 5

市場を細分化するセグメンテーション、細分化された市場を評価して標的であるセグメントを設定するターゲティング、標的セグメントでの顧客ニーズを満たして優位な地位を確立するポジショニング、の3つを行うことである。

第 1 問 答案用紙 < 2 >
(経 営 学)

問題 2

問 1

国 際 標 準 化 機 構

問 2

株式の相互持ち合い分の相殺と、配当を求め合わないことで、大量の資金を必要とせず、株主総会も形骸化するため、実質的な経営者支配が可能になる。また、安定株主を持つことで敵対的買収の防止にもなるという動機である。

問 3

外国人、女性者等の登用で多様な視点を生む。このことが経営監視のために株主が重視する取締役会の独立性と客観性につながり、激しい環境変化の下での意思決定のリスク回避、イノベーションの導出にもつながることになる。

問 4

社会的責任を重視する企業を評価する規範が市場で形成されるようになり、株主価値を高めるためにも企業が対応するようになる。また、社会的に責任のある企業の活動が、社会経済システムの持続可能な発展にもつながる。

第 2 問 答案用紙 < 1 > (経 営 学)

問題 1						
問 1	3	%	17	%	- 3	%
	デュポン		総資産回転率		13	%
	1.8	%	9.27	%		
問 2	営業利益		運転資本		- 200	
問 3	93.39	百万円				
問 4	(記号) C					
問 5	50	百万円				
問 6	(記号) B					
問 7	リアル・オプション		大きく			
問題 2						
問 1	36	%	20	%	7.6	%
	+ 1		225		東京証券取引所第1部	
問 2	証券Cの期待収益率	4	%	証券Cのリスク	$\sqrt{38}$	%
	証券Dのシナリオ3における収益率		2	%		
問 3	ベータ値	0.93	均衡期待収益率	6.65	%	
問 4	債券価格	100	円	マコーレーのデュレーション	2.94	年

第2問 答案用紙<2>
(経営学)

問題3

問7

2	3
---	---

問2

中立的	93.14 億円	13.14 億円
0.90 億円	14.04 億円	信用

問3

14	%
----	---

問4

(記号) A
